

進路新聞

大江高校
進路指導部
発行

現実味増す 希望進路

早ければ六月 試験開始

連休明けの五月六日、進路行事が相次いで行われました。来月にも試験が始まる学校もあり、三年生は自らの進路と真剣に向き合わざるをえない時期に差し掛かったと言えます。進路行事と三年生の様子を報告します。

進路別 ガイダンス

就職と進学に分かれてガイダンスを行いました。就職希望者は、就職試験のスケジュールや面接のポイントを学び

ました。進学希望者は、専門学校や大学の担当者から直接説明を受けました。ガイダンスを実施する学校は三年生の希望進学先にできるだけ合うように選んでいます。就職希望生徒は、「面接練習が難しかった。服装や言葉遣いなどを普段の学校生活から意識していきたい」と感想を述べました。進路別ガイダンスの前に進学希望者は、奨学金の制度等を学びました。講師の先生からは、「奨学金などはお家の人と相談して決めるので、早めに話し合う必要がある」と説明がありました。

放課後の積み重ね

進学・就職講習 始まる

進学・就職講習が始まりました。講習は全学年の生徒から申込みがあり、真剣な表情で取り組んでいます。希望進路に必要な講座を自ら選択し、進んで取り組むことはとても価値のあることだと思います。講習は随時受け付けています。



写真上、進学講習(英語)の様子
写真下、就職講習(国語)の様子
どちらも良い雰囲気でした!

お願い



就職希望者が行った礼の練習。
礼の角度や手の位置を学んだ。

大江高校には、大学や企業などの関係者が多く来校されます。その方々は、入試や求人募集の話などを「ぜひ大江高校にしたい!」と思いき、わざわざ学校に足を運んでくださっています。当然みなさんの様子も見ておられます。「みなさんの印象は大江高校の印象」になります。それはたとえ一人であっても、大江高校全体の印象につながります。ここでお願いです。外部の方と廊下等ですれ違う時は、必ず挨拶をしてください。過去に挨拶をしてもらったことを大変喜んでおられた大学関係者の方がいました。みなさん、来校された方には、挨拶をしてください。

インターンシップが来るぞ!

7月4日から5日間程度、2年生はインターンシップに行きます。学校外の方から刺激を受ける絶好のチャンス! 企業の側も良い経験にしてほしいと考え、準備してくれています。企業側のその意気込みをみなさんの行動でお返ししよう!

雀の涙

昔、インドのある国の王子は何不自由のない生活を城の中で送っていました。ある時王子は、城の外に出ていく機会を得、城の門を出ました。門を出た時に王子は病気で苦しむ人などとお会いし、「生」について考えを深め、そして修行の道に入ることを決意します。

王子にとって、外へ足を踏み出したことが、自分が何をすべきかを見つけるきっかけとなりました。城の中に居続けたら、見つけられなかったはず。進路情報センターには、オンラインキャンパスなどのお知らせが沢山届いています。少しでも興味がある所へぜひ行ってください。一歩踏み出すことで何かのきっかけが得られると思います。ちなみに、王子の名前は、ガウタマ(シッダールタ、のちのブッタ(悟った者))であり、彼は仏教を開きました。